＜第４４０１回＞
目的地：明神山と亀の瀬地すべり歴史資料室見学
担当者：熊谷
実施日：2023 年 8 月 27 日(日)
形　式：ハイキング
費　用：¥810.-（鶴橋発、天王寺着）
参加者：9 名
天　気：晴
行　程：
近鉄関屋駅(8:55)→(9:15)明神山登山口(9:20)→(9:49)関屋地蔵(9:54)→(10:32)河内堅上駅分岐先(10:37)→(11:05)東屋[昼食](11:35)→(11:45)明神山(12:05)→(12:20)藤井分岐→(12:34)藤井→(12:50)大正橋先(12:55)→(13:20)亀の瀬地すべり歴史資料室・亀の瀬トンネル[見学](14:30)→安隆園ぶどう直売所→(15:11)JR 河内堅上駅[解散]

感　想：
　見学の方がケガで急遽キャンセルとなり、亀の瀬トンネル見学事前予約者 5 名に予約なしの 4 名を加え計 9 名で出発しました。熱中症の話などもしながら、ダイトレの北口方面の分岐をすぎ、明神山登山口へと向かいます。猛暑も予想されていましたが、風もあり比較的暑くはなくコンディションはまずまずです。さて、ここから山に入りますが、いきなり本日最大の難所です。わりと険しい岩場がありロープを伝って直登していきます。急坂を登りおえ、鉄塔を巻きながら進みます。人が入っていないようで、蜘蛛の巣だらけです。小枝で次から次へとあらわれる蜘蛛の巣を 100 個ぐらい払いながら進みましたが、すごい蜘蛛の巣の密度なので、油断していると、ときどき顔に蜘蛛の巣が張り付きます。関電の巡視道を通っていきますが、枝道も多く地図をちゃんと見ていないと迷いかねない道です。関屋地蔵から先は大阪府と奈良県の県境尾根で、左側の谷間を走るＪＲ大和路線の電車の音も聞こえます。巡視道エリアを抜けると、突然明神山直下の東屋があらわれました。後の行程も考えて、少し早いですがここで昼食としました。ここから明神山まではあっという間、明神山では大展望を満喫できました。本日 1 つ目のハイライト明神山の登頂完了です。本日のコースは金剛葛城山系と生駒山系を結ぶ山域となっており、明神山頂に葛城第二十八塚があり、ここまでが金剛葛城山系ということでしょうか。ここからは山麓の王寺町明神の住宅地に続いている広い車道を下ります。先ほどまでの巡視道と違い、あっというまに距離が進みます。途中の藤井分岐から再び階段の多い山道に入り、藤井集落に下山しました。この付近でもハンミョウやトンボを見かけ、山中でも蜘蛛、蛇のほか蝶も多数見かけましたので、明神山は生き物がいっぱい生息している自然豊かな山なんだなと実感できました。大和川の橋近くの、「ようこそ信貴山へ」の看板をみて、ここから生駒山系だなと感じました。大和川を渡り龍田古道を通って本日 2 つ目のハイライト、亀の瀬地すべり資料室に急ぎます。13 時 45 分の 10 分までに受付しないといけないのですが、亀の瀬トンネルの予約をしていない人も当日の予約空き枠で見学手続が必要だったので、ちょうどぴったりの時間での資料室到着となりました。そして、無事 9 名全員亀の瀬トンネルの見学をすることができました。見学するトンネルに入る前の待合室のトンネルでは排水が足元を流れ、とても涼しかったです。亀の瀬トンネル見学では、昭和 7 年の地すべりで埋まったトンネルがそのままの状態で保存されていました。またトンネル内に投影されたプロジェクションマッピングはとても美しく、皆さんに好評でとてもよかったです。亀の瀬トンネル見学後は、資料室を見学しました。地すべりエリアの全貌や奈良盆地と大阪平野を結んでいる地理的歴史的重要性、地質的に地すべりがおこりやすい場所であること、過去の災害や地すべり対策の歴史などの様子をわかりやすく展示してあり、もっとじっくり時間をかけて学んでみたいと思いました。また、一番印象に残ったことは、地すべりが再び発生すると、まず閉塞土砂で奈良盆地側の浸水被害が発生し、その後閉塞土砂の決壊により、上町台地より東側の大阪平野一帯が広範囲で水没してしまうということ、地すべり対策が今も継続して行われていること(地すべり抑止・排水・排土工事、及び今も続いている地すべりの挙動の永続的監視)などで大阪平野などを水没から守っているという事実を知ったことです。まさに関係者の努力に頭の下がる思いです。さて、亀の瀬地すべり資料室の見学を終え、今後の行動について、堅下駅まではこれから 2 時間くらいかかり、葡萄直売所での購入時間を考えると、帰りが遅くなりそうだということ、積乱雲も湧いてきており、夕方雷雨になるかもしれないことなど話し、皆さんに意見を聞いたところ、葡萄直売所に立ち寄ったあと、河内堅上駅で解散することとなりました。河内堅上駅手前から、大和川の橋を渡り国道 25 号線沿いのぶどう直売所に向かいました。様々な種類や色の葡萄がたわわに実っている葡萄棚も見ながら、皆さん試食もして、お目当ての葡萄の買物を楽しんでおられました。私も 3 種盛を購入しました。河内堅上駅に到着するともう電車が到着間際だったので、ギリギリ電車に滑り込みました。明神山登山、亀の瀬地すべり資料室、葡萄直売所、と全て楽しめ、とても印象的で楽しい山行となりました。暑い中、皆様お疲れ様でした。

特　記：

・明神山直下には、トイレがあります。
・亀の瀬地すべり歴史資料室は、「ブラタモリ」が好きな地質ファンには特におすすめの場所です。
・亀の瀬トンネルの見学予約（プロジェクションマッピングのみのコース）は比較的空いていました。
・亀の瀬地すべりの全てが学べる１時間半のガイド付きコースは大人気で、予約受付開始１週間くらいで予約が埋まるとのことなので、しっかり学びたい人はこのコースで予約して見学することをお勧めします。この内容でしかも無料で学べると、評判は上々のようです。私も時間を見つけて、このコースの見学に行ってみたいと思いました。